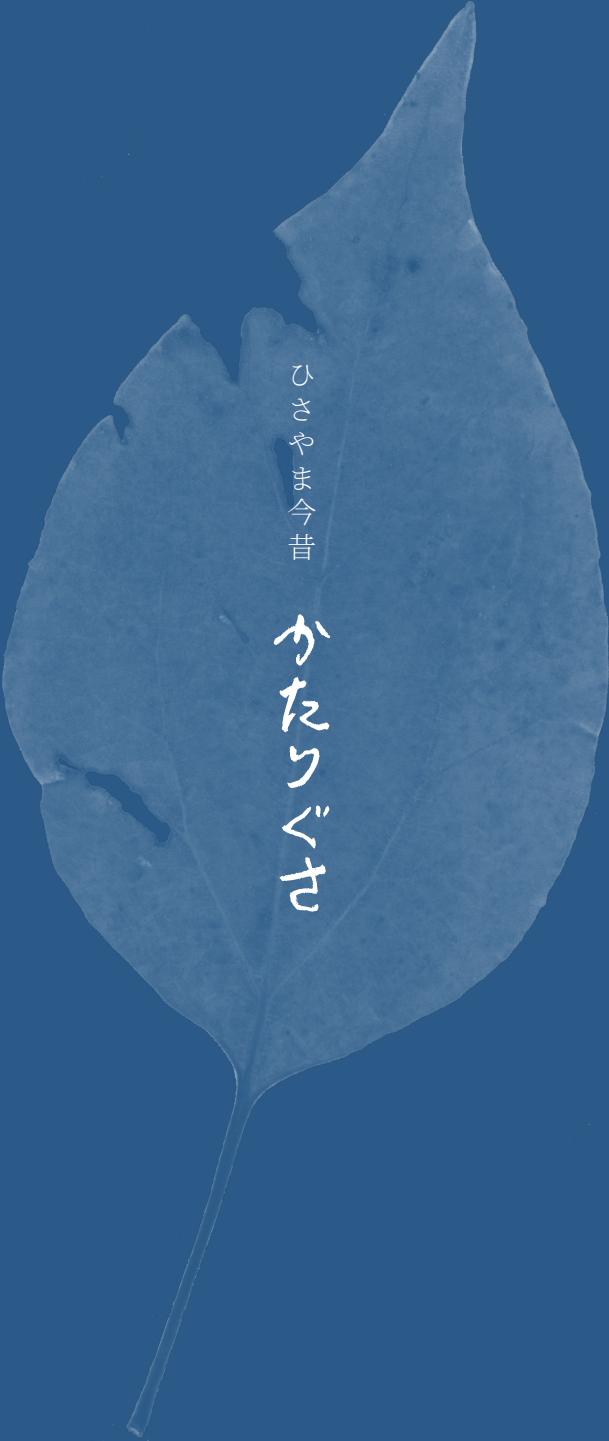


ひさやま今昔





かたりーぐさ【語り草】…いつまでも人々の話題になることや、その「話の種」を意味する言葉



ひさやま今昔

かたうぐさ



これは、町制70周年を迎える久山町に暮らす若者たちが、
町の人々にインタビューを重ね、編さんした記念誌です。

「かたりぐさ」が

豊かであるということ。

一人ひとりの「かたりぐさ」には、

町の自然や歴史、人とのつながりが息づいています。

その言葉に耳を傾けることは、

久山のさまざまな表情に出会うことでもあります。

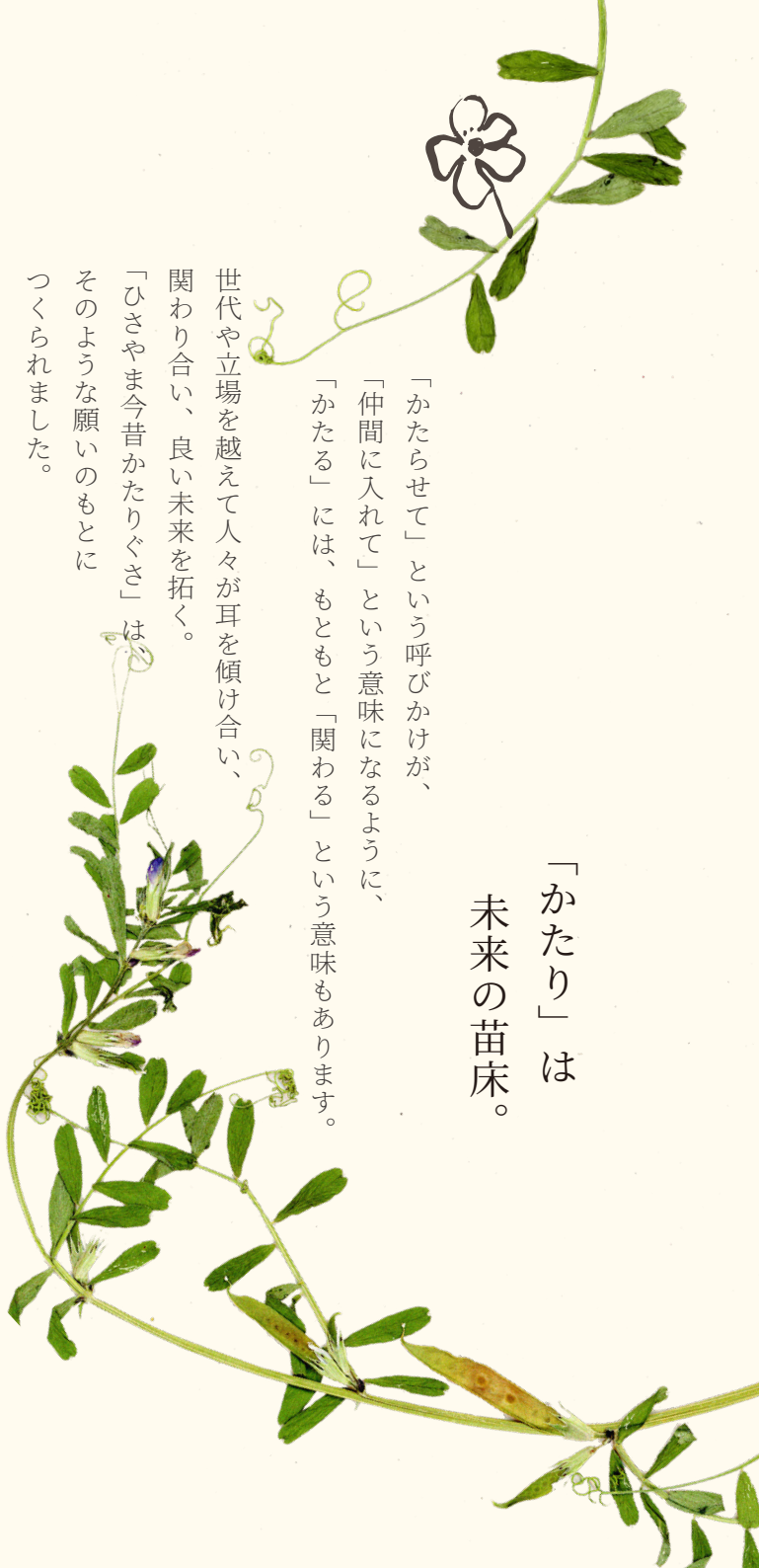


「かたり」は 未来の苗床。

「かたらせて」という呼びかけが、
「仲間に入れて」という意味になるように、
「かたる」には、もともと「関わる」という意味もあります。

世代や立場を越えて人々が耳を傾け合い、
関わり合い、良い未来を拓く。

「ひさやま今昔かたりぐさ」は
そのような願いのもとに
つくられました。



もくじ

はじめに この本のなりたち

09

町制70周年を3つの機会に

わたしの「かたりぐさ」、みんなが「かたりぐさ」

取材メンバー紹介

インタビュー 1

17

ちょうど良い町

町ぐるみで子どもが育つ

つながりに助けられ、そのつながりを担う



火を囲むことで生まれるコミュニティ

想いと思い出を宿す、久山の風景

なんか好き

輪への誘い方

インタビュー 2

思い出が生まれるスポット

なかなか見つからない、ちょうど良い田舎

意見を持つこと、動くこと

担い手に移行するとき

身近な人の意外な顔



インタビュー 3

恩送りのような営み

婦人会という苦勞と自由

お葬式も地域ごと

懐かしい未来のような話

迎え入れ合うこと

93

インタビュー 4

歴史や経験が踏まえられた未来

必要な場を、自分たちでつくった

ナンバーワンではなくオンリーワン

127



バトンの渡し方、渡され方

顔を合わせれば、言葉の奥が分かってくる

未来につないでいきたいもの

記録「かたり」が生まれる場をつくる実践

165

手をはたらかせながら、かたらう

「わたしたちの首羅山ものがたり」を読み継ぎ、唄う

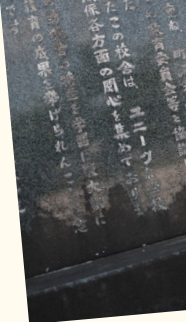
編集後記座談 1年半の制作過程をふりかえって

187

おわりに 懐かしくて新しい未来に向けて

197





はじめに
この本のなりたち
まはな



町制70周年を

3つの機会に

町制70周年をどのように祝うか。本書は、そのような問いを重ねるなかで生まれた記念誌です。本をつくる過程で人が出会い、学び合うこと。そして、完成した本をきっかけに新たな会話やつながりが生まれること。その両方を大切にし、町制70周年を次の3つの機会とします。



若者たちが

挑戦できる機会に

本書の制作では、若者たちが中心となり、一人ひとりの興味や関心を出発点に、町の人々の話を聞き、一冊にまとめました。人と出会い、学び、自分の言葉で表現する。本づくりを通じてこうした経験を重ね、これからの新たな挑戦につながる機会とします。



歴史や文化を

つないでいく機会に

本書には、町の人々の「かたり」を収めています。一人ひとりの経験や記憶には、地域の歴史や文化が息づいています。また、久山には、町誌や町制60周年記念誌など、町の歴史を記録した書籍が多数あります。町の人々の言葉を書きとめて伝えるとともに、本書の「かたり」と、これまでの書籍に記された歴史を照らし合わせ、町の歴史や文化を次の世代へつなぐ機会とします。

さまざまな関係が

広がる機会に

本書は、読者の皆さんに新たな会話や交流のきっかけを届けます。「これってどういうこと?」「あの人にこの話を聞いてみよう」「自分なら何を語るだろう」。本書をきっかけに身近な人と語り合い、お互いの経験や記憶を分かち合うことで、人と人とのつながりが広がる機会とします。



わたしの「かたりぐさ」、
みんなが「かたりぐさ」



本書の出発点は、一人ひとりの暮らしの中から生まれた「かたり」です。それぞれの経験や記憶、視点を大切にしています。町が一人ひとりのかけがえない暮らしの舞台であるように、本書もまた、それぞれの思いを伝える場として編さんしました。

一人ひとりの「わたし」が集まってできあがる「みんな」。その「みんな」の中で暮らす「わたし」。「わたし」と「みんな」は切り離せるものではなく、どんなに

個人的な話も、暮らす町や社会の歴史、文化、自然と深く結びついています。

本書では、読者が自分の経験や記憶を重ねながら読み進められるよう、一部の人名や地名を省略しています。また、個々の「かたり」の背景を知る手がかりとして、久山町の歴史や習慣、制度などについての注釈を掲載しています。町を散策するような気持ちで、注釈にも立ち寄りながら読み進めてみてください。

取材 メンバー



右から

あきやま けんたろう
秋山健太郎

(聞き手・
プロジェクトリーダー)

東久原在住、大学生。
人生の在り方に関心がある。

なかのり ようたろう

中野遼太郎
(聞き手)

上山田在住、久山町役場勤務。
旅行、音楽、車、バイクが好き。

まさき こうだい

正木虹大
(聞き手)

下久原在住、大学生。
バイク、ものづくりが好き。

なかやま ひより

中山日和
(撮影)

猪野在住、大学生。写真、音楽、
料理、バイク、車が好き。

はやしだ こはる

林田小春
(聞き手)

下久原在住、大学生。自然、旅、
写真、雑誌、音楽が好き。

